

学校評価委員会 2009.02.20 では

学校関係者評価 『今年の重点目標に対する自己評価と来年度の目標設定に向けて』 2009.02.13 (報告) を受けて、来年度の重点目標について話し合いました。

評価

(本校の今年度の目標の達成度を、どのように感じるか、 4:大変よくできている。 3:できている。 2:ややできていない 1:できていない)

今年の重点目標	自己評価	来年度の目標設定について	学校関係者評価での意見	評価	来年度の目標について(委員会での意見など)	
1 教育活動	<b>基礎的・基本的な知識や技術を確実に身につけさせる。</b>	『授業評価』の結果から、教員は一人一人に応じた分かる授業を心がけており、生徒もそれを感じている。「タペストリー」では全国的な評価を得た。今後とも重点目標として創意工夫していきたい。『自己評価』に見られるように、教科ごとの最終評価にはばらつきがある。1の評価のものについては見直し、その他については、これまでどおりやや高い目標を設定して努力したい。	継続して同じ目標を掲げる。	一人一人に応じた分かる授業をすることで、生徒の学力は伸びていく。学校のレベルを上げるためにも学力をつけてほしい。	3	基礎的・基本的な知識や技術を確実に身につけさせる。
				・学習意欲のわく授業等の項目が生徒と先生の評価がかけはなれるのは仕方ない面もあるが、今後更に授業の工夫に取り組んでほしい。 ・親との共有	2	
				・一人一人にきめ細かな授業を心がけるのは、大変であるが、頑張ってもらいたい。	3	
				・英語の取り組みが、高校生にとって大切になってくる。		
<b>各種資格・検定に積極的に挑戦させる。</b>	『学校評価アンケート』からも、最も重点を置いており、生徒・保護者・教員とも評価は高い、本校の根幹を成す目標であり、今後とも前向きに取り組みたい。『自己評価』から、それぞれの科で具体的に目標を掲げているが、まだまだ成果として十分なものとはいえないので、更に努力したい。	「高度熟練技能者への挑戦」を目標として掲げ、さらに充実させたい。		3	「高度熟練技能者への挑戦」を目標として掲げ、さらに充実させたい。	
			・更に努力も	3		
			・本校の各種資格・検定への挑戦は、大きく評価します。 ・各分野に広く挑戦してほしい。そして、高度な技能を取得できるような取り組みをお願いします。	4		
			早い時期に三者懇談などをして、生徒の一人一人が将来の目標を早く決め、生徒・先生・親が一つの目標を共有して頑張ってください。			
<b>ものづくり教育に重点をおき地域産業を支える職業人を育てる。</b>	「あゆみちゃん」「ものづくりコンテスト」「研究成果発表会」など、家庭科や課題研究の授業で製作した作品等が、全国や香川県で最高位の評価を得ることが出来た。このような成果を足がかりに、更に力を入れて取り組みたい。	地域の高度熟練技能者を活用して、技能の伝承、地域のものづくり人材の育成を図る。		4	地域の高度熟練技能者を活用して、技能の伝承、地域のものづくり人材の育成を図る。	
				3		
			1年生の時より、クラス単位で課題を決め、全校で競う形で、良い物を全国に発信してほしい。 3年間で、全員がものづくりの喜びを体験し形にするようにしてほしい。	4		
			本校生徒の就職の状況と、早期離職者の問題についてはどうなのですか？			

